

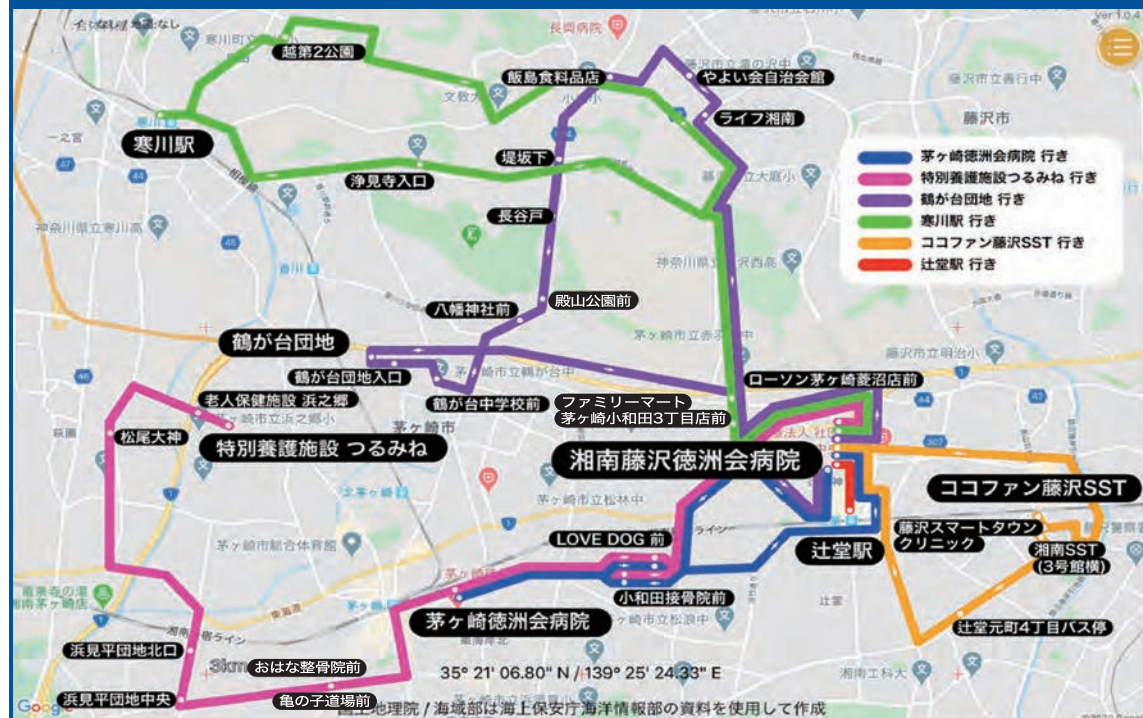
無料シャトルバスのご案内

検索 湘南藤沢徳洲会病院 交通アクセス



湘南藤沢徳洲会病院 シャトルバス路線図

時刻表



湘南藤沢徳洲会病院
Shonan-Fujisawa Tokushukai Hospital

〒251-0041 神奈川県藤沢市辻堂神台1-5-1
TEL:0466-35-1177(代表)

検索 湘南藤沢徳洲会



救急外来は年中無休・24時間診療

Access Map



駐車場ご利用について(湘南藤沢徳洲会病院 敷地内駐車場)



患者様	一般・面会
最初1時間.....100円	20分.....100円
以降1時間.....200円	上限.....1,000円
上限.....500円	※上限12時間



発行/2024年1月1日毎月1日発行 編集/湘南藤沢徳洲会病院 地域連携室

TAKE FREE
ご自由にお持ちください

Marine Paper

湘南藤沢徳洲会病院 広報誌マリンペーパー

Vol.
104

2024
January

謹
賀
新
年

院長 江原宗平
えはら かつひら

ヘッドランド(茅ヶ崎市)

謹賀新年



院長 江原 宗平

脊椎センター・
脊柱側彎症センター長

徳洲会創設者徳田虎雄先生の唱えた徳洲会の理念“生命だけは平等だ”、“安心して生命を預けられる病院”、そして“いつでも、どこでも、誰でもが最善の医療を受けられる社会の実現”を目指して皆様の生命と健康を守ることを使命とし、本年もまた病院をあげて精一杯努力する所存でございます。

当院は1980年に徳洲会グループが関東で初めて茅ヶ崎徳洲会総合病院を開院して以来、2012年に現在の湘南藤沢徳洲会病院へ新築移転いたしております。

一般外来並びに各種専門外来を設け、地域の皆様に最善の医療を提供することを本分としております。さらに健診ドックや公開医療講座を通じて予防医療や医学的知見の提供にも努めております。また、各医学会による施設認定を受けており毎年十数名の研修医を受け入れる基幹型臨床研修施設でもあります。外来には1日平均約1000人の患者さんが来院され、救急指定病院として年間10000台前後の救急車を受け入れております。

ハイブリッド手術室、320列CT、3.0テスラMRI、放射線治療装置(バーサ、ノバリス)、手術支援ロボット(ダ・ヴィンチ)、ハイブリッド脊椎手術室・ロボット脊椎手術などの先進性、安全性の高い診療・治療体制を構築しております。

日本医療機能評価機構認定に加えて国際医療評価機関(JCI)の認定も取得、さらに医療安全体制を整備し、全職員の倫理観および医療技術、診療態度を向上させ、また、クリニックの先生方との連携を密に、患者さんの信頼を頂けるように努力いたします。

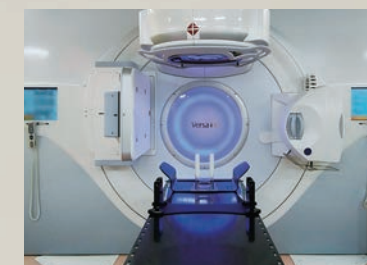
本年も御厚情賜れますよう何ほどよろしくお願い申し上げます。



ハイブリッド脊椎手術室ロボット脊椎手術



手術支援ロボット(ダ・ヴィンチ)



放射線治療装置(バーサ)



看護部長
亀谷 恵美子

新年あけましておめでとうございます。
皆様には健やかに新年をお迎えのことと思います。
看護・介護の医療現場では、少子高齢化に伴い、患者様だけでなく職員の高齢化にも目を向けなくてはならない時代となっています。このような時代と共に変化していく状況のなかで、いかに地域医療に貢献していけるか、院内外にアンテナを張り巡らせながら当院の役割を再認識するとともに、看護の質向上、安心・安全な看護の提供、接遇や倫理教育などの職員教育や働き方改革に力を入れていく所存です。
徳洲会の「生命だけは平等だ」という理念のもと、職員一同、地域の皆様に必要とされ続ける医療機関として、より質の高い看護を提供できるよう、努力してまいります。
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

脊椎センター・脊柱側彎症センター

脊椎センター・脊柱側彎症センター長を兼任しております。

脊椎センター・脊柱側彎症センターとしては2004年8月のセンター開設以来5000例以上の脊椎手術を行い、その中で若い方、年配の方を含めた脊柱側彎症手術が1500例を超えました。

ハイブリッド脊椎手術室でのナビゲーションを用いた椎骨スクリュー挿入は32000本を超え、そのうち3700本以上はロボット脊椎手術によるものです。

脊柱側彎症の患者さんは神奈川県はもとより全国からお越しになっておられます。

センターとしての手術件数
(2004年8月～2023年11月30日)

	頸椎	胸椎	腰椎	脊柱側彎症	その他	総数
2004年8月より	6	0	20	3	0	29
2005年	24	2	90	14	8	138
2006年	33	3	101	23	9	169
2007年	28	3	129	12	7	179
2008年	26	5	142	17	2	192
2009年	44	2	123	36	2	207
2010年	38	5	93	46	0	182
2011年	45	7	118	44	1	215
2012年	43	4	139	60	2	248
2013年	77	20	209	71	1	378
2014年	65	16	231	77	1	390
2015年	72	16	222	107	1	418
2016年	54	14	217	110	11	406
2017年	71	13	208	99	16	407
2018年	41	3	187	111	16	358
2019年	38	2	148	122	22	332
2020年	41	5	144	118	8	316
2021年	46	13	153	126	17	355
2022年	26	7	115	145	7	300
2023年11月末	22	8	108	145	11	294
総数	840	148	2,897	1,486	142	5,513

2023年11月30日時点

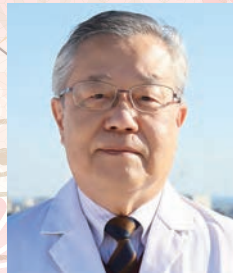


事務長
平良 修一

新年明けましておめでとうございます。
皆様方におかれましては、新春を晴々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。
猛威を振った新型コロナウイルス感染症の分類も5類に変更となり、社会全体がかつての日常に戻りつつあります。当院では、本年秋頃にかねてより建設中でありました新棟が完成予定で、HCU(高度治療室)新設や人間ドック・健診センターの拡張など地域のニーズに呼応する診療機能の拡大を計画しています。
今後も「患者様中心の医療」を念頭に全職員一丸となって質の高い医療提供に努め、地域の皆様から信頼される病院運営に尽力して参りますので何卒宜しくお願い申し上げます。

謹賀新年

今年もよろしくお願いいたします。



総長
かめ い てつ まさ
亀井 徹正

神経内科 [臨床神経学] 1974年 熊本大学卒

今後の日本は働き手世代の人口が激減することが確実であり、医療分野の働き手不足が危惧されています。病院では「働き方改革」もあり、これまで以上に仕事を効率的に安全に行うことが求められます。電子カルテ内のデータから必要なエビデンスを紡ぎだして診療の質を高め、効率的な医療を提供することが可能な時代になってきています。「学習する医療システム」と言われるもので、当院でもその仕組みが動きだしています。



副院長
こん どう てつ り
近藤 哲理

呼吸器内科 人間ドック・検診センター長 [喘息・慢性閉塞性肺疾患、睡眠時無呼吸症候群] 1976年 京都大学卒

新年おめでとうございます。
コロナ騒ぎが収まり、穏やかな新年となりました。
いま病院敷地内では健診センターやハイケアユニットを備えた新棟工事が進んでおり、秋には完成の予定です。移転後10年余りで増築ができるのも、皆様の暖かいご支援の賜物と感謝しております。今年は働き方改革実行の年であり、若い力を集めるためには、働き甲斐と誇りの持てる職場を目指す必要があります。更なるご理解とご支援をお願いできれば幸いです。
今年の干支はツートップの甲と龍、良い年でありますように。



名誉院長
むな かた ひろ み
宗像 博美

肝胆脾・消化器病センター [消化器内科・内視鏡] 1981年 東京慈恵会医科大学卒

医療者の原点は、「医療を通しての社会貢献」ですが、当院が目指している社会貢献の方法は、大きく二つあります。
①必要な時に必要な医療を提供する。そのために、24時間365日断らない医療を実践する。
②人材の育成に力を入れる。
患者さんに寄り添い、安全・安心な医療を提供していくのは人であり、次世代を担い、社会に貢献できる人材を育成していくことが組織の真価であると考えています。職員一同、謙虚さ、誠実さを忘れずに仕事に向き合っていく所存です。どうぞよろしくお願いいたします。



副院長
よし だ とし お
吉田 利夫

泌尿器科 [小児泌尿器・女性泌尿器・レーザー治療・尿路再建・泌尿器内視鏡治療・がん治療] 1981年 日本大学卒

新年あけましておめでとうございます。
まだまだ病院内はマスク着用が日常であり、一体いつになったら戻ることか。暗い話ばかりではしょうがありませんが、泌尿器科は、保険適応になっている8種の治療が全て当院では実施されています。副腎から腎臓、尿管、膀胱、前立腺、骨盤臓器脱、良性疾患、悪性疾患、奇形など多岐に渡ります。さらに9月からは前立腺がんの診断精度を上げるため、MRI融合生検システム トリニティを導入しました(詳しくは当院HPで)。前立腺肥大症の治療も低侵襲化が進み、今までのレーザー前立腺切除(HoLEP)だけでなく、軽尿道的な前立腺吊り上げ術(PUL) UroLift、軽尿道的な水蒸気治療(WAVE) Rezum 治療がそれぞれ始動しております。今後はさらに患者さんのために最善の治療を目指して泌尿器科一同精進いたします。



院長補佐
こう りき しゅんさく
高力 俊策

外科 [一般外科・災害医療] 1999年 佐賀大学卒

我々を翻弄し続けた新型コロナウイルスも5類扱いとなり、皆様におかれましては久しぶりの落ち着いた新年を迎えられた事を願うばかりです。ロシア侵攻やパレスチナ紛争など心荒むニュースが溢れ、安全な日本で医療活動が出来る事を我々は感謝せねばなりません。2024年4月より本格的に医師の働き方改革が始まり、医療界も「2040年問題」圧倒的な労働力不足に備え、無駄を省き、慣例化した業務を見直し、効率化を図ってまいります。人生100年時代と言われ、定年後も働くことが望まれる中、皆様の健康を守るよう職員一同頑張っていきたいと考えております。



副院長
きた がわ いずみ
北川 泉

総合内科統括部長 [総合内科・総合診療] 1992年 金沢医科大学卒

新年あけましておめでとうございます。
昨年5月より新型コロナウイルス感染症の位置づけは、これまで「新型インフルエンザ等感染症(2類相当)」とされていましたが、「5類感染症」となり、社会全体および病院の機能も正常化に向かって進んできました。その中で、医療業界ではAI(人工知能)やDX(デジタルトランスフォーメーション)を活用した診断や技術の進歩が進んでおり、私たちも常に最新の技術や治療に取り組みながら地域医療に貢献したいと考えています。この最先端の医療技術を行う専門治療チームの充実と同じく、地域医療を幅広く、総合的に支える救急医・総合内科チームの強化も重要な課題として捉えています。専門治療チームと救急医・総合内科チームがともに協力し、全職員が一丸となって地域の皆様の健康と幸福を支え、より安心で安全な病院であり続けるために、一層の努力を重ねて参ります。ご支援とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

謹賀新年

今年もよろしく願いいたします。



肝胆膵・消化器病センター
センター長
いわがuchi しょうご
岩渕 省吾
[消化器・肝臓・肝硬変・
ウイルス肝炎・肝がん]
1972年 東京慈恵会医科大学卒



肝胆膵・消化器病センター
部長
し みず ひろひと
清水 弘仁
[肝臓・消化器・ウイルス肝炎]
1990年 聖マリアンナ医科大学卒



肝胆膵・消化器病センター
部長
ふじかわ ともあき
藤川 智章
[消化器・内科一般]
1995年 旭川医科大学卒



肝胆膵・消化器病センター
部長
つ だ たか し
津田 享志
[腫瘍内科]
2000年 聖マリアンナ医科大学卒



内視鏡内科 部長
消化器病センター
／内視鏡センター副室長
なが た みつる
永田 充
[食道・胃・十二指腸・大腸の早期
がん・腺腫などの内視鏡診断
治療内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)]
2006年 東京慈恵会医科大学卒



呼吸器内科 部長
ひ び の まこと
日比野 真
[呼吸器内科全般]
2006年 札幌医科大学卒



循環器内科 部長
あか さか たけし
赤坂 武
[循環器全般]
1991年 千葉大学卒



循環器内科 部長
やま ぎし たみ はる
山岸 民治
[循環器全般]
2005年 獨協医科大学卒



内分泌・糖尿病内科 部長
かわ さき
河崎 さつき
[糖尿病・内分泌・糖尿病網膜症]
1993年 岐阜大学卒



外科 部長
肝胆膵・消化器病センター
なか ざき はる ひろ
中崎 晴弘
[消化器外科、一般外科]
1980年 東邦大学卒



外科 部長
肝胆膵・消化器病センター
たねむら ひろ ゆき
種村 宏之
[消化器外科]
1991年 東邦大学卒



外科 部長
乳腺外科
ながみね しん じ
長嶺 信治
[乳腺甲状腺]
1992年 琉球大学卒



外科 部長
日帰り手術センター長
くら た しゅうじ
倉田 修治
[一般外科、血管外科、
下肢創傷ケア]
2010年 京都府立医科大学卒



整形外科 部長
たけいし ひろ ゆき
武石 浩之
[股関節外科・整形外科]
1994年 金沢大学卒



脊椎センター・脊柱側彎症
センター 部長
おかもと ひろ し
岡本 弘史
[整形外科・脊椎全般]
1997年 三重大学卒



形成外科・美容外科 部長
い い だ なお ひろ
飯田 直成
[先天性体表異常・皮膚良性・
悪性腫瘍・顔面外傷]
1989年 佐賀大学卒



小児科 部長
たていし いたる
立石 格
[小児科一般、新生児医療]
1984年 金沢大学卒



小児外科 部長
す ず き こうめい
鈴木 孝明
[小児外科一般]
1995年 昭和大学卒



脳神経外科 部長
お さ の せい き
小佐野 靖己
[神経外科(脳・脊髄・末梢神経)・
定位放射線治療]
1992年 弘前大学卒



脳神経外科 部長
えん どう まさ たか
遠藤 昌孝
[脳卒中・頭頸部外傷・脳腫瘍・
下垂体腫瘍]
1979年 北里大学卒

謹賀新年

今年もよろしく願いいたします。



機能神経外科 医長
機能的神経疾患センター長

やまもと かずあき
山本 一徹
[機能神経外科]

2010年 札幌医科大学卒



心臓血管外科 主任医長

はっとり しげる
服部 滋
[心臓血管外科]

2011年 福井大学卒



皮膚科 部長

わたなべ きょうこ
渡邊 京子
[皮膚真菌症・乾癬]

1991年 東京医科歯科大学卒



産婦人科 部長

はしぐち かずなり
橋口 和生
[産婦人科・周産期]

1985年 岩手医科大学卒



泌尿器科 部長
ロボット手術センター長

よしむら いちろう
吉村 一良
[尿路腫瘍・内視鏡・
ロボット手術]

1986年 慶應義塾大学卒



泌尿器科 部長

たかたま かずひこ
高玉 勝彦
[泌尿器科疾患・悪性腫瘍・
尿路結石治療・
泌尿器内視鏡治療]

1990年 日本大学卒



眼科 部長

やまもと さとる
山本 悟
[網膜硝子体]

1992年 三重大学卒



耳鼻咽喉科 部長

ひぐち ゆうしょう
樋口 雄将
[味覚臭覚・頭頸部手術]

2005年 日本大学卒



高精密度放射線治療センター
主任部長
肝胆膵・消化器病センター

ながの ひさと
永野 尚登
[高精密度放射線治療
(脳・体幹部定位照射/IMRT)]

1985年 奈良県立医科大学卒



高精密度放射線治療センター
部長
肝胆膵・消化器病センター

よこやま ひろし
横山 浩子
[放射線治療]

1990年 帝京大学卒



放射線診断科 部長

やぎ しんや
八木 進也
[画像診断]

2006年 山形大学卒



麻酔科 部長
集中治療科(ICU)

ふくい きみや
福井 公哉
[麻酔科学一般]

2006年 福島県立医科大学卒



痛みセンター 主任部長

きむら のぶやす
木村 信康
[ペインクリニック]

1997年 久留米大学卒



リウマチ・膠原病・
アレルギー科 部長

なかした たまお
中下 珠緒
[リウマチ・膠原病・アレルギー]

1999年 琉球大学卒



救急総合診療科部
救急センター 部長

かまがた はるか
鎌形 悠
[一般内科・救急総合診療]

2011年 滋賀医科大学卒



人間ドック・検診センター
部長

たにがき としもり
谷垣 俊守
[呼吸器内科]

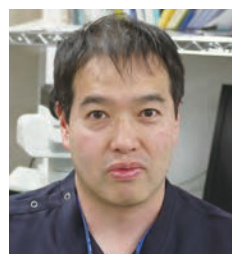
1985年 東海大学卒



検査科 部長
肝胆膵・消化器病センター

たかつか けんたろう
高塚 健太郎
[消化器IVR治療]

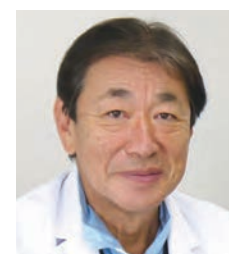
1990年 鹿児島大学卒



病理診断科 部長

いしかわ のりよし
石川 典由
[病理診断]

2000年 島根医科大学卒



医療安全管理室 室長

おかざき かおる
岡崎 薫
[医療安全・手術医療運営
アドバイザー]

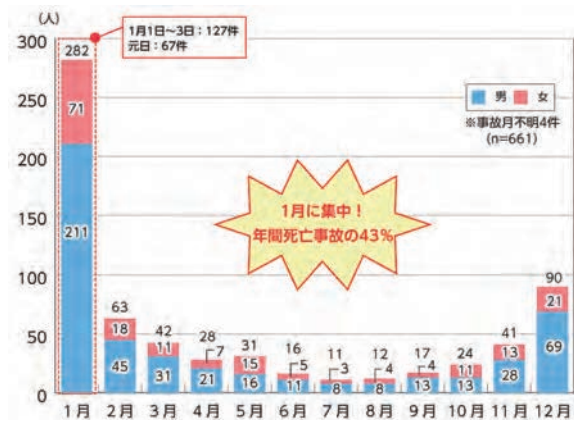
1976年 横浜市立大学卒



餅の窒息事故は正月三が日に集中!?

出典: 政府広報オンライン (<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/202212/2.html>)

餅による高齢者の死亡事故について、消費者庁が平成30年(2018年)から令和元年(2019年)の詳細を分析したところ、餅による高齢者の死亡事故の43%が1月に、14%が12月に発生し、特に正月三が日に多いことが分かりました。また、男性の死亡者数は女性の2.6倍も多いことが分かりました。高齢になると、かむ力や飲み込む力が弱くなります。特に餅を食べる機会が多い年末年始は、餅による窒息事故にご注意ください。



餅による高齢者の死亡事故件数(事故発生月)

〈厚生労働省 人口動態統計(H30～R1)の調査票情報より消費者庁で独自集計〉



餅を喉に詰まらせないためには…

1 餅は小さく切って、食べやすい大きさにしましょう

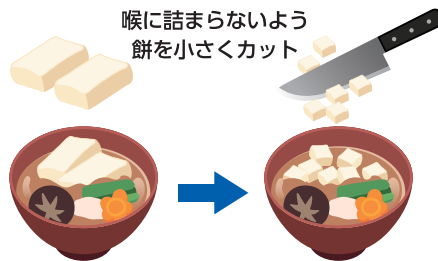
高齢者はかむ力や飲み込む力が弱いため、餅はあらかじめ食べやすい大きさに小さく切っておきましょう。

2 先にお茶や汁物を飲んで、喉を潤しておきましょう

餅を食べる前に、先にお茶や汁物などを飲んで、喉を潤しておきましょう。ただし、餅がうまく飲み込めないからといって、お茶などで無理やり流し込もうとするのは危険です。お茶や汁物はあくまでも唾液の補助と考えましょう。

お餅を食べるときは

喉に詰まらないよう
餅を小さくカット



3 急いで飲み込まず、ゆっくりとかんでから飲み込みましょう

餅を食べるときは、少量ずつ口に入れ、よくかんで食べましょう。よくかむことによって、唾液の分泌も促され、スムーズに飲み込めるようになります。口の中の餅を全て飲み込んでから、次の餅を口に入れるようにしましょう。

4 かむ力や飲み込む力が弱い高齢者などと一緒に食事をする際は、食事の様子を見守るなど注意を払いましょう

少なめの量を口に入れているか、しっかりかんで食べているかなど食事の様子に注意を払い、見守りましょう。



「がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会」

12月9日(土)に当院講堂にて緩和ケア研修会を開催しました。

緩和ケア研修会は、平成30年3月に閣議決定された「がん対策推進基本計画」で定められた研修会です。コロナ禍で中断を余儀なくされましたが、3年ぶりの開催となりました。がん等の診療に携わる全ての医療従事者が基本的な緩和ケアについて正しく理解し、緩和ケアに関する知識や技術、態度を修得することを目的としています。



集合研修企画責任者 種村外科部長

がん相談支援センターのご案内

- 患者相談支援センター内窓口
- 病院1階8番窓口(9:30～16:30)
※土・日・祝祭日除く
- Eメール:
fujitoku_kanjyasien@tokushukai.jp

相談員がさまざまな
ご相談にお答えします



- 治療・検査・副作用
- 心のこと
- 療養生活の過ごし方
- 経済的負担や支援について
- 医療と仕事の両立
- 緩和ケア

…………… など

がん患者サロン 「まりん」

第2回開催のお知らせ

がん患者サロンはがんを抱える人やご家族が気軽に集まって情報交換したり、悩みを打ち明けたりする場です。お気軽にお立ち寄りください。

- 事前予約不要、自由参加
- 日時: 1月27日(土) 14:00～15:00
- 場所: 2階 外来化学療法室
- 対象: 患者さんとそのご家族
- 内容:
 - ① ミニ講座「もっと知りたいリハビリのお話 体力維持に必要なことQ&A」
※動きやすい服装でご参加ください。また体温が38℃以上、息切れ、めまいや動悸、手足にしびれや痛みがある方は体操への参加はお控えいただく場合があります。
 - ② おしゃべり会